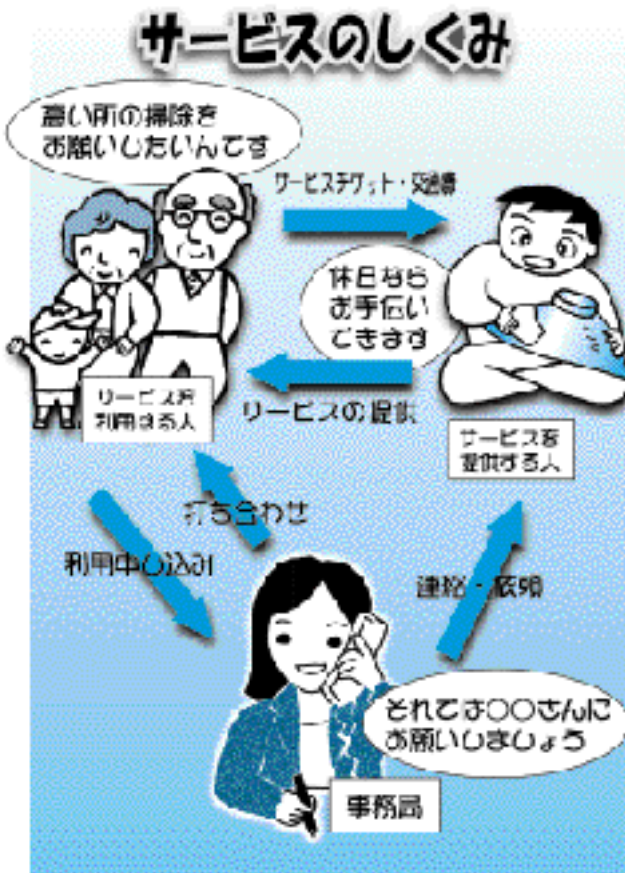


新しい時代の 新しい地域福祉システム

在宅福祉サービス「ささえあい狭山」が活動開始

4月1日から活動を始めた在宅福祉サービス「ささえあい狭山」は、高齢化と少子化が同時に進んでいる今日の社会で、誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに過ごせることを願って組織された市民の・市民による・市民のための「会員制の相互支援活動団体です。埼玉県内でもめずらしい**時間預託制**を取り入れ、「今ささえあっている人」が「ささえられる人」になったときに、自分が預託しておいた時間に値するサービスを受けられるシステムで活動しています。

平成12年4月からは介護保険制度が開始され、新しい福祉の時代システムである、「住民参加型在宅福祉サービス」「ささえあい狭山」を紹介します。



ささえあい狭山に入会するには

在宅福祉サービス「ささえあい狭山」は、会員制の相互支援活動団体です。この会には、15歳以上の狭山市在住が在勤のかたなら、どなたでも入会していただけます。ささえあ人もささえられる人も、「ささえあい狭山」の会員として登録していただけます。年会費は個人会員2千円、家族会員3千円です。また、ささえあい狭山を応援してくださる個人・団体・企業のかたは、賛助会員（103千円）としてお願いしています。

サービスのしくみ

利用を希望するかたは、事務局にご連絡ください。コーディネーターがご自宅を訪問し、利用にあたってのサービス内容など、細かい打ち合わせをします。サービスの内容は、暮らしの中のちょっとしたお手伝いです。私事（プライベート）は絶対に漏らしませんので、安心してご利用ください。

時間預託制度って？

「時間預託制度」とは「タイムダラー」とも言われ、一般的には福祉サービスにボランティアとして参加した際に、金銭による報酬の代わりに提供した時間を貯蓄しておき、自分や家族が介護などを必要とした時に、貯蓄しておいた時間分のサービスが受けられる制度です。日々の生活の中で、できる時にできることをするという、人と人との助け合いのシステムですので、福祉の面だけでなく地域のコミュニティづくりにも役立ちます。また、障害者や高齢者が「依頼者」になるだけでなく、ご自身も可能なサービス「提供者」としてボランティア活動に参加することができ、みんな社会に貢献することができるのです。

用ください。

活動時間 7時～23時

サービスの内容 掃除・整理整頓・洗濯・食事の支度・食事介助・身の回りの世話・話し相手・代読・代筆・各種代行・草取り・買い物・付き添いなど

市民みんなて ささえあって共に生きる

「ささえあい狭山」ができるまで

「ささえあい狭山」が設立されたきっかけは、平成9年7月に開催された「住民参加による在宅福祉サービスのあり方」に関する学習会でした。以来、そこに集まった有志の皆さんにより在宅福祉サービス検討委員会が組織され、これからの課題や対策などの勉強や調査研究を重ね、その結果、市民による相互支援と時間預託制度を基本とした在宅福祉サービス「ささえあい狭山」が誕生しました。



「今日のおかずは何にする？」活動の源は、皆さんの笑顔です。

設立当初から「ささえあい狭山」に関わってきたサービス利用者の中村さん(右)と、「料理好きを生かしたお手伝いができるかしら。」と考えて入会したサービス提供者の斉藤さん(左)。

活動は有償で

利用者が気兼ねなく、長く活動を続けていくために、有償とします。謝礼は1時間700円で、サービス提供者には活動した時間を預託するか、事務費(700円なら100円)を差し引いた額を支払います。原則として時間預託ですが、現金を支払うこともできます。時間預託と現金の扱いは事務局が行います

費用の支払い

謝礼は、サービス利用者が、活動当日にサービスチケットで支払いま

すので、あらかじめ事務局からチケットを購入しておきます。(コピーネーター訪問時に購入することもできます。)サービスチケットは30分1枚、5時間分の3千500円が1セットになっています。サービスの時間は、30分単位で加算されます。不要になったサービスチケットは、他人に譲ることはできませんので、事務局で払い戻しを受けてください。また、事務局に寄附することもできます。

ささえあい狭山の会員を募集しています

「サービスを提供するのも市民、サービスを利用するのも市民」の在宅福祉サービス「ささえあい狭山」では、会員を募集しています。これからの少子化・高齢社会を、みんなのささえあいの力で、生き生きとした、潤いのある狭山市に育てるために、あなたも会員になりませんか。

問い合わせ

狭山市福祉公社(仮称)設立準備事務所
所在宅福祉サービス「ささえあい狭山」事務局(富士見1・14・11北野第2ビル1階)へ
☎956・7666

サービス利用者から

横井一枝さん(北入曾在住)

私がお願いしたのは高い所の仕事です。蛍光灯が新しくなって部屋が明るくなりましたし、前から気になっていた主人の遺影も掛けられたので、ストレスがなくなりました。このささえあいの活動は、ちょっとお手伝いしてもらったような気持ちで頼めるので、本当にありがたいです。もう少し私が若かったら、私自身も誰かのお手伝いをしてあげられたのに、と思います。もっと利用者が増えて、助け合



い」の気持ちで狭山市に広がると思います。

サービス提供者第一号

佐藤真澄さん(富士見在住)



高い所の作業が困難というところで依頼があり、サービス利用者の横井さんのお宅で、蛍光灯の取り替えと亡くなったご主人の遺影の取り付けをしてきました。

た。私にとっては簡単な仕事でも、横井さんは長年気になっていたらしく、とても喜んでくれました。私の母親も田舎で一人暮らしをしていますので、親孝行をさせていただいた気持ちになって、感謝しています。これから私にできることなら何でもお手伝いをさせていただきたいと思っています。